

償還 運用報告書 (全体版)

アジア・ウェイブ アジア債券ファンド 円コース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2010年2月22日から2019年5月13日(当初2015年2月9日)までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	投資信託証券。
	ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンド-JPYクラス	米ドル建てのアジア(オセアニア地域を含む)の債券。
組入制限	国内マネーマザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
	当ファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	国内マネーマザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。前記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

第106期	<決算日	2019年1月8日>
第107期	<決算日	2019年2月8日>
第108期	<決算日	2019年3月8日>
第109期	<決算日	2019年4月8日>
第110期	<決算日	2019年5月8日>
第111期	<償還日	2019年5月13日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「アジア・ウェイブ アジア債券ファンド円コース」は、投資信託契約を解除し、2019年5月13日をもちまして繰上償還させていただきました。ここに第106期から第111期の運用状況とともに設定以来の運用経過をお知らせいたします。

ご愛顧誠にありがとうございました。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 証券組入比	債券率	純資産額
	(分配落)	税込 分金	騰落 中率			
	円銭	円	%	%	%	百万円
82期 (2017年 1月10日)	8,423	50	0.0	95.9	0.2	326
83期 (2017年 2月 8日)	8,407	50	0.4	96.2	0.2	324
84期 (2017年 3月 8日)	8,373	50	0.2	96.1	—	318
85期 (2017年 4月10日)	8,382	50	0.7	97.0	—	312
86期 (2017年 5月 8日)	8,302	50	△0.4	96.9	—	307
87期 (2017年 6月 8日)	8,302	50	0.6	96.9	—	306
88期 (2017年 7月10日)	8,125	50	△1.5	96.6	—	295
89期 (2017年 8月 8日)	8,138	50	0.8	97.4	—	293
90期 (2017年 9月 8日)	8,139	50	0.6	97.1	—	286
91期 (2017年10月10日)	8,022	50	△0.8	97.0	—	282
92期 (2017年11月 8日)	7,988	50	0.2	97.0	—	281
93期 (2017年12月 8日)	7,879	50	△0.7	97.6	—	275
94期 (2018年 1月 9日)	7,809	50	△0.3	96.4	—	272
95期 (2018年 2月 8日)	7,661	50	△1.3	97.4	—	264
96期 (2018年 3月 8日)	7,554	50	△0.7	97.5	—	260
97期 (2018年 4月 9日)	7,455	50	△0.6	97.7	—	252
98期 (2018年 5月 8日)	7,285	50	△1.6	97.2	—	243
99期 (2018年 6月 8日)	7,195	50	△0.5	96.8	—	238
100期 (2018年 7月 9日)	7,060	50	△1.2	96.5	—	230
101期 (2018年 8月 8日)	7,072	50	0.9	96.8	—	228
102期 (2018年 9月10日)	6,984	50	△0.5	96.9	—	224
103期 (2018年10月 9日)	6,896	50	△0.5	97.0	—	221
104期 (2018年11月 8日)	6,761	50	△1.2	96.7	—	215
105期 (2018年12月10日)	6,751	50	0.6	97.3	—	209
106期 (2019年 1月 8日)	6,724	50	0.3	96.0	—	207
107期 (2019年 2月 8日)	6,742	50	1.0	96.0	—	203
108期 (2019年 3月 8日)	6,681	50	△0.2	95.8	—	201
109期 (2019年 4月 8日)	6,642	50	0.2	96.4	—	193
110期 (2019年 5月 8日)	6,567	0	△1.1	—	—	188
(償還時)	(償還価額)					
111期 (2019年 5月13日)	6,565.58	—	△0.0	—	—	188

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。ユニテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンド - JPYクラスが組み入れた比率は含まれておりません。

※投資信託証券を通じて米ドル等の先進国通貨建てのアジア (オセアニア地域を含む) の債券に実質的に投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数等がございません。よって、ベンチマーク等は特定しておりません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準 (目標基準) となる指数をいい、約款または投資信託説明書 (目論見書) において、その旨の記載があるものを指します。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	債 組 入 比	券 率
			騰 落 率	率			
第106期	(期 首) 2018年12月10日	円 銭 6,751		% -	% 97.3		% -
	12月末	6,757		0.1	96.2		-
	(期 末) 2019年 1 月 8 日	6,774		0.3	96.0		-
第107期	(期 首) 2019年 1 月 8 日	6,724		-	96.0		-
	1 月末	6,766		0.6	96.3		-
	(期 末) 2019年 2 月 8 日	6,792		1.0	96.0		-
第108期	(期 首) 2019年 2 月 8 日	6,742		-	96.0		-
	2 月末	6,732		△0.1	96.1		-
	(期 末) 2019年 3 月 8 日	6,731		△0.2	95.8		-
第109期	(期 首) 2019年 3 月 8 日	6,681		-	95.8		-
	3 月末	6,731		0.7	96.7		-
	(期 末) 2019年 4 月 8 日	6,692		0.2	96.4		-
第110期	(期 首) 2019年 4 月 8 日	6,642		-	96.4		-
	4 月末	6,579		△0.9	78.2		-
	(期 末) 2019年 5 月 8 日	6,567		△1.1	-		-
第111期	(期 首) 2019年 5 月 8 日	6,567		-	-		-
	(償 還 時) 2019年 5 月 13 日	(償還価額) 6,565.58		△0.0	-		-

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

※債券組入比率は、親投資信託の比率を当ファンドベースに換算した実質比率です。ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンド - JPYクラスが組み入れた比率は含まれておりません。

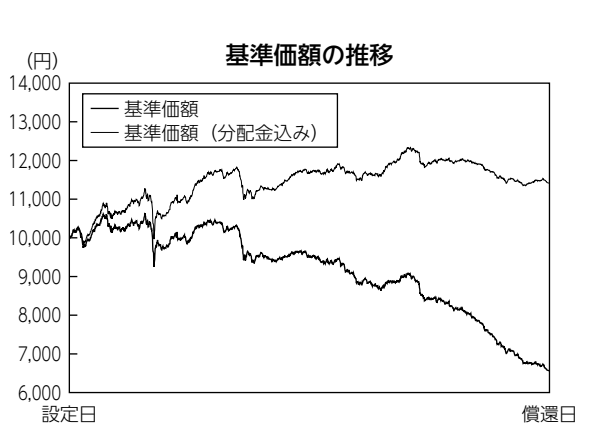
○設定以来の運用概況

(2010年2月22日～2019年5月13日)

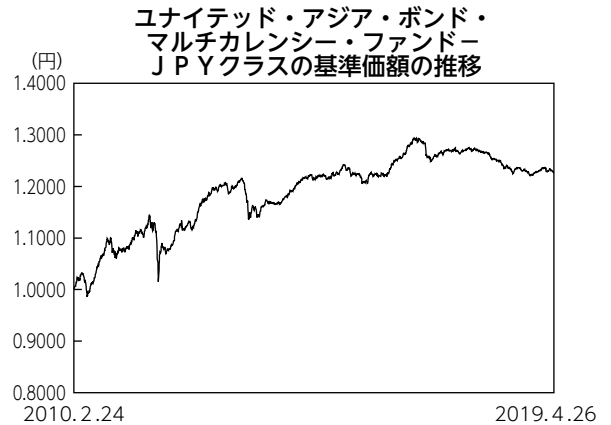
1. ファンドの特色

ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドー J P Yクラス (以下、アジア・ボンド・ファンドといいます。) への投資を通じて米ドル建てのアジア (オセアニア地域を含む) の債券などに投資を行い、外貨建て資産に対して米ドル売り、円買いの為替取引を行いました。

2. 設定時から前作成期間 (第1期から第105期) までの運用経過



※基準価額 (分配金込み) は、設定来の分配金 (累計) を単純に加算しています。



※基準価額は1口当たりです。
 ※設定来の分配金 (累計) を単純に加算しています。

基準価額の主な変動要因

アジア債券市場の上昇などを背景に基準価額 (設定来の分配金込み) は上昇しました。

【主な上昇要因】

アジア債券投資における利息収入
 アジア債券市場の上昇

【主な下落要因】

米ドル売り、円買いに伴うヘッジコスト

2010年2月22日～2015年6月8日

■ 投資環境

● アジア債券市場

アジア債券市場は、ギリシャの債務問題などユーロ圏における財政問題が懸念されリスク回避の動きが強まる場面があったものの、先進国を中心とした金融緩和の流れを受けて堅調な推移となりました。日米欧の中央銀行は当該期間において量的緩和を実施し、景気の回復や金融市場の安定化に努めました。先進国主導の金融緩和はより高い利回りが享受できるアジア債券など新興国市場へ資金流入する結果となりました。このような中、米国国債と米ドル建てアジア債券の利回り格差は縮小しました。

● 国内短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の金融緩和姿勢を受けて低位安定の動きとなりました。2013年3月に就任した黒田日銀新総裁は強力な金融緩和政策を打ち出し、マネタリーベースの増加や、日銀保有の長期国債残高の拡大などを決定しました。

■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

設定後速やかにアジア・ボンド・ファンドの高位組み入れを開始したほか、国内マネー・マザーファンドへの投資を行いました。

● アジア・ボンド・ファンド

主として米ドル建てのアジア（オセアニア地域を含む）の債券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当期間においては米ドル建て以外の豪ドル建て、インドネシアルピア建て債券への投資も実施しました。また、米ドル売り、円買いの為替取引を行いました。

● 国内マネー・マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指しました。

2015年6月9日～2018年12月8日

投資環境

●アジア債券市場

トランプ大統領の景気対策や米国の金融引き締めへの動きのほか、イタリアの政局を巡る混乱などからリスク回避の動きが強まったことを受けてアジア債券市場の上値を重くする場面もありましたが、当期間を通じて先進国の金利水準が低位で推移する中で、比較的高い利回りが享受できるアジア債券に対する需要が強まり、アジア債券市場は堅調となりました。このような中、米国国債と米ドル建てアジア債券の利回り格差は拡大しました。

●国内短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の大規模な金融緩和を受けてマイナス圏での推移となりました。日銀は2016年1月にはマイナス金利政策を導入し、金融緩和をさらに強化しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当期間を通じてアジア・ボンド・ファンドの高位組み入れを維持したほか、国内マネー・マザーファンドへの投資も継続しました。

●アジア・ボンド・ファンド

主として米ドル建てのアジア（オセアニア地域を含む）の債券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当期間においては米ドル建て以外の債券への投資は徐々に解消し、当期間末時点では米ドル建て債券のみに投資を行いました。また、米ドル売り、円買いの為替取引を行いました。

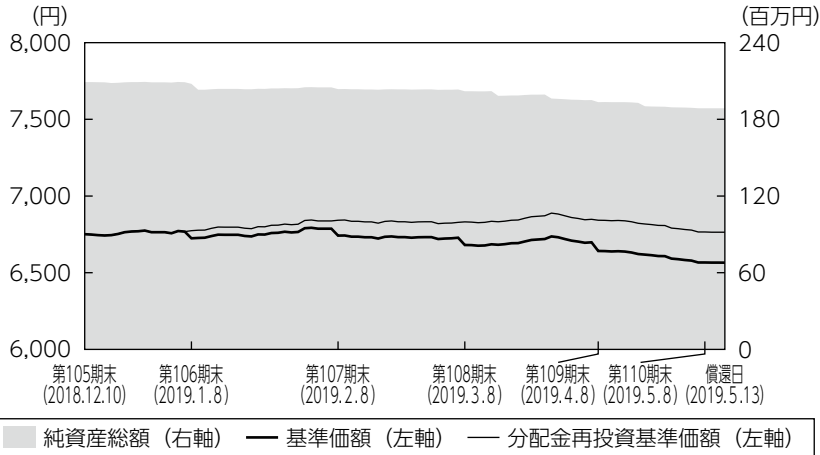
●国内マネー・マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指しましたが、マイナス利回りの債券について投資を見送ったことから、当期間末時点では債券組入比率は0%としました。

3. 当作成期間（第106期から第111期）の運用経過

運用経過の説明

基準価額等の推移



第106期首： 6,751円
 償還日： 6,565円58銭
 (既払分配金200円)
 騰落率： 0.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドー JPYクラス (以下、アジア・ボンド・ファンドといいます。) への投資を通じて米ドル建てのアジア (オセアニア地域を含む) の債券などに投資を行い、外貨建て資産に対して米ドル売り、円買いの為替取引を行いました。この結果、アジア債券市場が上昇したものの、ヘッジコストなどにより基準価額 (分配金再投資ベース) はほぼ変わらずとなりました。

【主な上昇要因】

アジア債券投資における利息収入
 アジア債券市場の上昇

【主な下落要因】

米ドル売り、円買いに伴うヘッジコスト

投資環境

● アジア債券市場

アジア債券市場は、世界的な景気減速懸念や米中間の貿易問題の不透明感が上値を重くした場面もあった一方で、米国の追加利上げ観測の後退のほか、比較的底堅い結果となった中国の経済指標などを受けて堅調な推移となりました。米国では、先行きの景気減速懸念などから2019年中の追加利上げは行われぬとの見方が大勢を占めています。このような中、米国国債と米ドル建てアジア債券の利回り格差は縮小しました。

● 国内短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の短期国債の買い入れ姿勢や海外勢の需要などを睨み、マイナス圏で推移しました。

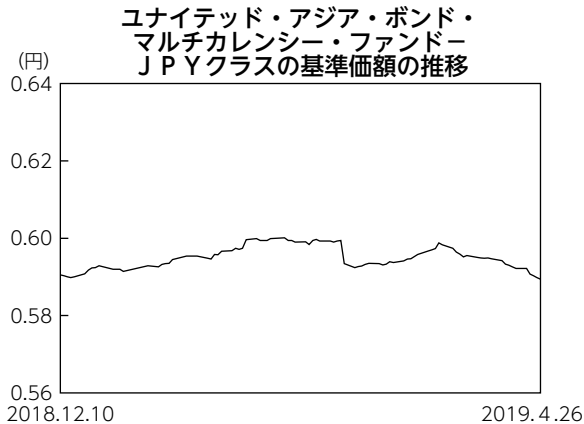
■ポートフォリオについて

●当ファンド

作成期間を通じてアジア・債券・ファンドの高位組み入れを維持したほか、国内マネー・マザーファンドへの投資も継続しました。なお、繰上償還にあたり、各ファンドの売却を実施しました。

●アジア・債券・ファンド

主として米ドル建てのアジア（オセアニア地域を含む）の債券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当作成期間においては米ドル建て以外の債券への投資は見送りました。また、米ドル売り、円買いの為替取引を行いました。なお、繰上償還にあたり、保有債券の売却を実施しました。



※基準価額は1口当たりです。

※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

●国内マネー・マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指しましたが、マイナス利回りの債券について投資を見送ったことから、作成期末時点の債券組入比率は0%となっています。

ベンチマークとの差異について

投資信託証券を通じて米ドルなどの先進国通貨建てのアジア（オセアニア地域を含む）の債券に実質的に投資を行うという当ファンドのコンセプトに適した指数などがございません。よって、ベンチマークなどは特定していないため、グラフは掲載しておりません。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
	2018年12月11日 ～2019年1月8日	2019年1月9日 ～2019年2月8日	2019年2月9日 ～2019年3月8日	2019年3月9日 ～2019年4月8日	2019年4月9日 ～2019年5月8日
当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	－円
対基準価額比率	0.738%	0.736%	0.743%	0.747%	－%
当期の収益	50円	50円	50円	50円	－円
当期の収益以外	－円	－円	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	1,777円	1,787円	1,797円	1,808円	1,808円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

償還にあたって

ファンドの設定以来、長い間ご愛顧いただきまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

項目	第106期～第111期 (2018年12月11日 ～2019年5月13日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	33円	
(投信会社)	(11)	(0.164)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(21)	(0.319)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	33	0.498	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年5月13日)

投資信託証券

銘	柄	第106期～第111期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	ユナイテッド・アジア・ボンド・ マルチカレンシー・ファンドーJ P Yクラス	□ -	千円 -	□ 344,591,089	千円 197,042

*金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第 106 期 ～ 第 111 期			
		設 定		解 約	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内マナー・マザーファンド		千□ -	千円 -	千□ 1,781	千円 1,798

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年5月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年5月13日現在)

2019年5月13日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘	柄	第105期末
		□ 数
ユナイテッド・アジア・ボンド・ マルチカレンシー・ファンドーJ P Yクラス		□ 344,591,089
合	計	344,591,089

親投資信託残高

銘	柄	第105期末	
		□	数
国内マネー・マザーファンド			千口 1,781

親投資信託の決算日における組入資産の明細につきまして、後述の親投資信託の「運用報告書」に記載しております。

○投資信託財産の構成

(2019年5月13日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 188,703	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	188,703	100.0

○資産、負債、元本及び基準（償還）価額の状況

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	償 還 時
	2019年1月8日現在	2019年2月8日現在	2019年3月8日現在	2019年4月8日現在	2019年5月8日現在	2019年5月13日現在
(A) 資 産	209,502,601円	205,376,188円	203,653,460円	195,126,698円	188,888,743円	188,703,253円
コール・ローン等	8,341,617	7,981,128	8,387,703	6,789,088	188,888,743	188,703,253
投資信託受益証券(評価額)	199,362,167	195,596,421	193,467,118	186,539,149	-	-
国内マネー・マザー ファンド(評価額)	1,798,817	1,798,639	1,798,639	1,798,461	-	-
(B) 負 債	1,740,774	1,715,127	1,695,526	1,655,254	184,770	30,645
未払収益分配金	1,544,830	1,510,403	1,511,337	1,456,400	-	-
未払信託報酬	195,425	204,187	183,703	198,329	184,366	30,428
未払利息	18	10	10	15	404	217
その他未払費用	501	527	476	510	-	-
(C) 純資産総額(A-B)	207,761,827	203,661,061	201,957,934	193,471,444	188,703,973	188,672,608
元 本	308,966,007	302,080,799	302,267,556	291,280,077	287,366,455	287,366,455
次期繰越損益金	△101,204,180	△ 98,419,738	△100,309,622	△ 97,808,633	△ 98,662,482	-
償 還 差 損 金	-	-	-	-	-	△ 98,693,847
(D) 受 益 権 総 口 数	308,966,007口	302,080,799口	302,267,556口	291,280,077口	287,366,455口	287,366,455口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,724円	6,742円	6,681円	6,642円	6,567円	-
1万口当たり償還価額(C/D)	-	-	-	-	-	6,565円58銭

○損益の状況

項 目	第 106 期	第 107 期	第 108 期	第 109 期	第 110 期	第 111 期
	2018年12月11日～ 2019年1月8日	2019年1月9日～ 2019年2月8日	2019年2月9日～ 2019年3月8日	2019年3月9日～ 2019年4月8日	2019年4月9日～ 2019年5月8日	2019年5月9日～ 2019年5月13日
(A) 配 当 等 収 益	2,036,680円	1,995,764円	1,995,930円	1,939,393円	△ 2,099円	△ 937円
受 取 配 当 金	2,037,079	1,996,221	1,996,221	1,939,749	-	-
支 払 利 息	△ 399	△ 457	△ 291	△ 356	△ 2,099	△ 937
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,118,097	234,518	△ 2,129,303	△ 1,451,077	△ 1,988,934	-
売 買 益	774	2,628,358	-	31,693	247,576	-
売 買 損	△ 1,118,871	△ 2,393,840	△ 2,129,303	△ 1,482,770	△ 2,236,510	-
(C) 信 託 報 酬 等	△ 195,926	△ 204,714	△ 184,179	△ 198,839	△ 184,366	△ 30,428
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	722,657	2,025,568	△ 317,552	289,477	△ 2,175,399	△ 31,365
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 91,105,648	△ 89,831,217	△ 89,316,052	△ 87,779,990	△ 87,716,047	△ 89,891,446
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 9,276,359	△ 9,103,686	△ 9,164,681	△ 8,861,720	△ 8,771,036	△ 8,771,036
(配 当 等 相 当 額)	(13,273,159)	(12,992,950)	(13,026,800)	(12,566,939)	(12,410,879)	(12,410,879)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 22,549,518)	(△ 22,096,636)	(△ 22,191,481)	(△ 21,428,659)	(△ 21,181,915)	(△ 21,181,915)
(G) 計 (D+E+F)	△ 99,659,350	△ 96,909,335	△ 98,798,285	△ 96,352,233	△ 98,662,482	-
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,544,830	△ 1,510,403	△ 1,511,337	△ 1,456,400	0	-
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 101,204,180	△ 98,419,738	△ 100,309,622	△ 97,808,633	△ 98,662,482	-
償 還 差 損 益 金 (D+E+F+H)	-	-	-	-	-	△ 98,693,847
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 9,276,359	△ 9,103,686	△ 9,164,681	△ 8,861,720	△ 8,771,036	-
(配 当 等 相 当 額)	(13,273,159)	(12,992,950)	(13,026,800)	(12,566,939)	(12,410,879)	(-)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 22,549,518)	(△ 22,096,636)	(△ 22,191,481)	(△ 21,428,659)	(△ 21,181,915)	(-)
分 配 準 備 積 立 金	41,644,635	41,017,245	41,317,580	40,107,473	39,563,059	-
繰 越 損 益 金	△ 133,572,456	△ 130,333,297	△ 132,462,521	△ 129,054,386	△ 129,454,505	-

・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項

・信託財産に係る作成期首元本額、作成期中追加設定元本額及び作成期中一部解約元本額

作成期首元本額	309,841,171円
作成期中追加設定元本額	624,546円
作成期中一部解約元本額	23,099,262円

・分配金の計算過程

第106期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,840,635円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (13,273,159円) 及び分配準備積立金 (41,348,830円) より分配対象収益は56,462,624円 (1万口当たり1,827.44円) であり、うち1,544,830円 (1万口当たり50円) を分配しております。

第107期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,812,464円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (12,992,950円) 及び分配準備積立金 (40,715,184円) より分配対象収益は55,520,598円 (1万口当たり1,837.92円) であり、うち1,510,403円 (1万口当たり50円) を分配しております。

第108期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,811,672円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (13,026,800円) 及び分配準備積立金 (41,017,245円) より分配対象収益は55,855,717円 (1万口当たり1,847.87円) であり、うち1,511,337円 (1万口当たり50円) を分配しております。

第109期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,740,459円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (12,566,939円) 及び分配準備積立金 (39,823,414円) より分配対象収益は54,130,812円 (1万口当たり1,858.36円) であり、うち1,456,400円 (1万口当たり50円) を分配しております。

第110期

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益 (0円)、信託約款に定める収益調整金 (12,410,879円) 及び分配準備積立金 (39,563,059円) より分配対象収益は51,973,938円 (1万口当たり1,808.61円) であり、分配を行っておりません。

第111期

当ファンドは、信託約款に基づき、当計算期間末をもって償還されるため、該当事項はありません。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年2月22日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年5月13日		資産総額	188,703,253円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	30,645円
				純資産総額	188,672,608円
受益権口数	283,080,000口	287,366,455口	4,286,455口	受益権口数	287,366,455口
元本額	283,080,000円	287,366,455円	4,286,455円	1万口当たり償還金	6,565円58銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	791,995,242円	804,178,283円	10,154円	40円	0.4%
第2期	891,866,956	892,893,183	10,012	40	0.4
第3期	1,142,532,034	1,115,603,706	9,764	40	0.4
第4期	1,273,389,031	1,265,593,952	9,939	40	0.4
第5期	1,458,750,679	1,482,799,527	10,165	40	0.4
第6期	1,652,259,039	1,704,154,443	10,314	40	0.4
第7期	1,522,270,408	1,603,384,776	10,533	40	0.4
第8期	1,546,153,922	1,634,228,752	10,570	40	0.4
第9期	1,511,897,908	1,551,554,711	10,262	40	0.4
第10期	1,498,653,309	1,535,162,805	10,244	40	0.4
第11期	1,443,301,361	1,477,691,968	10,238	40	0.4
第12期	1,377,947,023	1,409,135,927	10,226	40	0.4
第13期	1,444,812,411	1,492,109,381	10,327	40	0.4
第14期	1,360,457,019	1,413,585,721	10,391	40	0.4
第15期	1,317,882,756	1,369,487,392	10,392	40	0.4
第16期	1,212,068,115	1,259,384,615	10,390	40	0.4
第17期	1,131,837,409	1,195,187,698	10,560	40	0.4
第18期	1,372,472,261	1,419,888,694	10,345	40	0.4
第19期	1,420,154,650	1,341,496,589	9,446	40	0.4
第20期	1,468,833,001	1,441,399,454	9,813	40	0.4
第21期	1,376,600,365	1,341,047,163	9,742	40	0.4
第22期	1,407,839,481	1,374,576,949	9,764	40	0.4
第23期	1,421,043,986	1,419,317,921	9,988	40	0.4
第24期	1,371,741,797	1,380,312,131	10,062	40	0.4
第25期	1,361,345,753	1,351,494,693	9,928	40	0.4
第26期	1,576,246,020	1,581,198,790	10,031	40	0.4

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 27 期	1,646,646,990円	1,628,770,950円	9,891円	40円	0.4%
第 28 期	1,600,262,680	1,620,557,646	10,127	40	0.4
第 29 期	1,615,726,127	1,663,689,837	10,297	40	0.4
第 30 期	1,594,583,057	1,640,622,824	10,289	40	0.4
第 31 期	1,547,334,308	1,600,591,573	10,344	40	0.4
第 32 期	1,443,234,019	1,501,579,021	10,404	40	0.4
第 33 期	1,423,362,674	1,482,304,018	10,414	40	0.4
第 34 期	1,522,959,353	1,580,958,270	10,381	40	0.4
第 35 期	1,508,946,099	1,531,213,086	10,148	40	0.4
第 36 期	1,463,332,087	1,495,330,141	10,219	40	0.4
第 37 期	1,464,339,367	1,496,306,343	10,218	40	0.4
第 38 期	1,492,055,295	1,536,299,671	10,297	40	0.4
第 39 期	1,485,912,882	1,473,654,184	9,918	40	0.4
第 40 期	1,464,579,869	1,385,472,444	9,460	40	0.4
第 41 期	1,418,349,700	1,357,222,156	9,569	40	0.4
第 42 期	1,366,434,984	1,275,907,457	9,337	40	0.4
第 43 期	1,338,836,089	1,272,938,750	9,508	40	0.4
第 44 期	1,286,203,644	1,225,186,944	9,526	40	0.4
第 45 期	1,140,960,849	1,079,263,608	9,459	40	0.4
第 46 期	1,093,607,377	1,028,693,150	9,406	40	0.4
第 47 期	1,043,392,394	978,816,321	9,381	40	0.4
第 48 期	1,013,291,440	957,840,875	9,453	40	0.4
第 49 期	951,377,332	903,422,383	9,496	40	0.4
第 50 期	928,277,781	883,486,678	9,517	40	0.4
第 51 期	904,914,754	867,624,714	9,588	40	0.4
第 52 期	835,252,270	803,035,240	9,614	40	0.4
第 53 期	805,135,406	771,117,762	9,577	40	0.4
第 54 期	796,862,377	765,377,360	9,605	40	0.4
第 55 期	785,798,842	746,690,955	9,502	40	0.4
第 56 期	776,989,035	736,063,344	9,473	40	0.4
第 57 期	734,366,121	693,156,790	9,439	40	0.4
第 58 期	713,017,177	665,734,973	9,337	40	0.4
第 59 期	709,082,801	662,899,096	9,349	40	0.4
第 60 期	694,705,106	649,225,696	9,345	40	0.4
第 61 期	676,962,214	635,633,345	9,389	50	0.5

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 62 期	669,968,262円	622,310,960円	9,289円	50円	0.5%
第 63 期	665,747,210	609,815,379	9,160	50	0.5
第 64 期	642,477,845	585,666,545	9,116	50	0.5
第 65 期	629,700,442	568,016,370	9,020	50	0.5
第 66 期	620,116,690	546,242,337	8,809	50	0.5
第 67 期	599,189,349	530,081,279	8,847	50	0.5
第 68 期	581,121,868	514,545,558	8,854	50	0.5
第 69 期	547,453,963	481,767,762	8,800	50	0.5
第 70 期	513,306,832	450,142,794	8,769	50	0.5
第 71 期	512,543,879	444,927,600	8,681	50	0.5
第 72 期	457,275,161	399,208,897	8,730	50	0.5
第 73 期	445,579,870	394,627,557	8,856	50	0.5
第 74 期	445,653,148	394,070,712	8,843	50	0.5
第 75 期	440,086,804	389,989,178	8,862	50	0.5
第 76 期	430,174,454	385,965,709	8,972	50	0.5
第 77 期	435,181,762	390,941,940	8,983	50	0.5
第 78 期	430,356,536	388,439,242	9,026	50	0.5
第 79 期	420,032,528	374,287,669	8,911	50	0.5
第 80 期	411,195,511	361,948,169	8,802	50	0.5
第 81 期	387,818,984	328,430,842	8,469	50	0.5
第 82 期	387,639,468	326,527,695	8,423	50	0.5
第 83 期	385,903,804	324,434,382	8,407	50	0.5
第 84 期	379,872,503	318,079,448	8,373	50	0.5
第 85 期	372,379,784	312,126,476	8,382	50	0.5
第 86 期	369,984,884	307,156,456	8,302	50	0.5
第 87 期	369,663,908	306,882,750	8,302	50	0.5
第 88 期	363,759,099	295,555,365	8,125	50	0.5
第 89 期	360,575,945	293,438,411	8,138	50	0.5
第 90 期	352,445,034	286,852,821	8,139	50	0.5
第 91 期	352,445,858	282,732,369	8,022	50	0.5
第 92 期	352,058,174	281,235,926	7,988	50	0.5
第 93 期	349,345,687	275,263,793	7,879	50	0.5
第 94 期	349,192,662	272,691,409	7,809	50	0.5
第 95 期	345,262,005	264,514,655	7,661	50	0.5
第 96 期	344,353,746	260,127,475	7,554	50	0.5

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基 準 価 額	1 万 口 当 たり 分 配 金	
				金 額	分 配 率
第 97 期	339,047,265円	252,763,096円	7,455円	50円	0.5%
第 98 期	334,351,328	243,587,616	7,285	50	0.5
第 99 期	330,946,798	238,123,010	7,195	50	0.5
第 100 期	327,031,717	230,896,326	7,060	50	0.5
第 101 期	322,870,079	228,346,653	7,072	50	0.5
第 102 期	322,025,016	224,907,430	6,984	50	0.5
第 103 期	321,110,150	221,428,622	6,896	50	0.5
第 104 期	318,197,123	215,127,589	6,761	50	0.5
第 105 期	309,841,171	209,172,777	6,751	50	0.5
第 106 期	308,966,007	207,761,827	6,724	50	0.5
第 107 期	302,080,799	203,661,061	6,742	50	0.5
第 108 期	302,267,556	201,957,934	6,681	50	0.5
第 109 期	291,280,077	193,471,444	6,642	50	0.5
第 110 期	287,366,455	188,703,973	6,567	0	0.0

○分配金のお知らせ

	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	0円

1. 分配金のお支払いは、決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 自動継続投資契約を結んだ方のお手取り分配金は、決算日の基準価額（分配落ち）にもとづき、それぞれの口座に再投資いたしました。
3. 分配金は普通分配金に課税されます。
4. 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	6,565円58銭
----------------	-----------

1. 償還金のお支払いは、償還日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 償還金が個別元本を上回る金額に対して、源泉税が徴収されます。

ユナイテッド・アジア・ボンド・ マルチカレンシー・ファンド

J P Yクラス/K R Wクラス/C N Yクラス/A U Dクラス/カレンシー・バスケット・クラス

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	ケイマン諸島籍外国投資信託/円建受益証券
運用方針	<p>主として米ドル建てのアジア（オセアニア地域を含む）の債券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、豪ドル建て、ニュージーランドドル建ておよびアジア現地通貨建ての債券にも投資を行うことがあります。</p> <p>米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り/米ドル買いの為替取引を行います。その上で、クラスごとに以下の為替取引を行います。</p> <p>J P Yクラス：原則として、米ドル売り、円買いの為替取引を行います。</p> <p>K R Wクラス：原則として、米ドル売り、韓国ウォン買いの為替取引を行います。</p> <p>C N Yクラス：原則として、米ドル売り、中国元買いの為替取引を行います。</p> <p>A U Dクラス：原則として、米ドル売り、豪ドル買いの為替取引を行います。</p> <p>カレンシー・バスケット・クラス：原則として、米ドル売り、複数アジア通貨買いの為替取引を行います。複数アジア通貨とは、オセアニアを含むアジア通貨のなかから、通常の状況において5～10通貨程度で構成されたものです。ただし、リスク回避目的などで、アジア通貨買いの一部を円買いに切り替える場合があります。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ソブリン債などを除く同一発行体の証券への投資割合は、原則として純資産総額の5%以内とします。 ・原則として、買付時においてB B ー格相当以上の信用格付けを有する証券に限定します（ソブリン債などの場合を除く）。また、ポートフォリオ全体の平均信用格付けを、B B B ー格相当以上とします。 ・他ファンドへの投資は、純資産総額の5%以内とします。 ・有価証券の空売りは行わないものとします。 ・純資産総額の10%を超える借り入れは行わないものとします。 ・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。 ・通常の状況において、日本において有価証券に属する証券に投資信託財産の総額の50%超を投資します。
信託期間	無期限
決算日	毎年12月31日
信託報酬等	<p>純資産総額に対し年率0.39%</p> <p>上記料率には、投資顧問会社、受託会社兼管理事務代行会社、副管理事務代行会社、保管受託銀行への報酬が含まれます。</p> <p>この他に、監査報酬、弁護士費用、当初設定にかかる諸費用などが投資信託財産から支払われます。</p>
関係法人	<p>投資顧問会社：U O B アセット・マネジメント・リミテッド</p> <p>受託会社兼管理事務代行会社：B N Y メロン ファンド マネジメント（ケイマン）リミテッド</p> <p>副管理事務代行会社：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン・シンガポール支店</p> <p>保管受託銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン</p>

「ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドーJ PYクラス」、「ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドーK RWクラス」、「ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドーCNYクラス」、「ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドーAUDクラス」および「ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドーカレンシー・バスケット・クラス」は、「ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンド」の個別クラスとなっております。

ユナイテッド・アジア・ボンド・マルチカレンシー・ファンドの内容

(1) 財政状態計算書

2017年12月31日現在
日本円

資産	
流動資産	
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	1,148,189,986
現金および現金同等物	53,980,663
証拠金勘定	12,983,121
資産合計	<u>1,215,153,770</u>
負債	
流動負債	
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	519,857
受益証券保有者に対する債務	1,000,000
受益証券保有者に対する未払分配金	12,109,864
未払費用	13,292,563
負債合計 (受益証券保有者に帰属する純資産を除きます。)	<u>26,922,284</u>
受益証券保有者に帰属する純資産	<u>1,188,231,486</u>

(2) 包括利益計算書

2017年12月31日に終了した会計年度
日本円

収益	
受取利息	42,739
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産 および金融負債に係る公正価値の純変動額	183,563,028
為替差益 / (損) 純額	<u>2,264,130</u>
投資純収益合計	<u>185,869,897</u>
費用	
投資顧問会社報酬	6,298,771
受託会社報酬および管理事務代行会社報酬	11,150,827
保管受託銀行報酬	7,553,982
取引費用	18,099
専門家報酬	20,069
支払利息	204,975
その他の営業費用	<u>5,896,344</u>
営業費用合計	<u>31,143,067</u>
営業利益	154,726,830
金融費用	
受益証券保有者に対する分配金	<u>(250,401,976)</u>
分配金控除後税引前損失	<u>(95,675,146)</u>
分配金控除後税引後損失	<u>(95,675,146)</u>

(ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン・シンガポール支店提供の財務書類等より作成しております。)

(3) 組入有価証券

2017年12月29日現在

銘柄名	利率 (%)	償還日	通貨	額面	時価 (円)
PERTAMINA PERSERO PT	5.625	2043/5/20	USD	400,000.00	49,016,740
CNOOC CURTIS FUNDING NO1	4.500	2023/10/3	USD	400,000.00	47,962,600
BANGKOK BANK PCL/HK	9.025	2029/3/15	USD	300,000.00	47,830,661
IND & COMM BK OF CHINA	4.875	2025/9/21	USD	400,000.00	47,685,795
361 DEGREES INTL LTD	7.250	2021/6/3	USD	400,000.00	46,720,649
CLP POWER HK FINANCE LTD	4.250	PERP/CALL	USD	400,000.00	45,969,179
ONGC VIDESH LTD	3.750	2023/5/7	USD	400,000.00	45,800,158
EHI CAR SERVICES LTD	5.875	2022/8/14	USD	400,000.00	45,627,712
UNITED OVERSEAS BANK LTD	3.500	VAR 2026/9/16	USD	400,000.00	45,354,512
DR PENG HOLDING HONGKONG	5.050	2020/6/1	USD	400,000.00	45,229,695
CNAC HK FINBRIDGE CO LTD	4.125	2027/7/19	USD	400,000.00	45,045,984
WOORI BANK	4.500	PERP/CALL	USD	400,000.00	44,697,353
ENN ENERGY HOLDINGS LTD	3.250	2022/7/24	USD	400,000.00	44,684,375
HKT CAPITAL NO 4 LTD	3.000	2026/7/14	USD	400,000.00	42,959,603
MAJAPAHIT HOLDING BV	7.750	2020/1/20	USD	300,000.00	36,965,191
TENAGA NASIONAL BERHAD	7.500	2025/11/1	USD	250,000.00	35,577,246
CHINA OVERSEAS FIN. VI	6.450	2034/6/11	USD	250,000.00	34,893,545
YESTAR HEALTHCARE HLD CO	6.900	2021/9/15	USD	300,000.00	34,811,017
DAH SING BANK LTD	5.250	VAR 2024/1/29	USD	300,000.00	34,431,565
CRCC YUPENG LTD	3.950	PERP/CALL	USD	300,000.00	34,021,663
ALIBABA GROUP HOLDING	3.600	2024/11/28	USD	250,000.00	29,214,895
AUST & NZ BANKING GRP/UK	6.750	PERP/CALL	USD	200,000.00	25,628,027
GOLDEN LEGACY PTE LTD	8.250	2021/6/7	USD	200,000.00	24,393,827
BANK OF CHINA	5.000	2024/11/13	USD	200,000.00	24,022,778
BHARTI AIRTEL INTERNATIO	5.125	2023/3/11	USD	200,000.00	23,877,188
PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	5.250	2047/5/15	USD	200,000.00	23,483,645
YANLORD LAND HK CO LTD	5.875	2022/1/23	USD	200,000.00	23,066,689
JAPFA COMFEED TBK PT	5.500	2022/3/31	USD	200,000.00	22,814,149
SHINHAN BANK	3.750	2027/9/20	USD	200,000.00	22,610,499
SHOUGANG GROUP	3.375	2019/12/9	USD	200,000.00	22,557,373
MIDEA INVST DEVELOPMENT	2.375	2019/6/3	USD	200,000.00	22,378,394

VAR：変動利付債

PERP/CALL：コール条項付永久債

(UOBアセット・マネジメント・リミテッド提供の財務情報より作成しております。)

国内マネー・マザーファンド

第11期 運用報告書

(決算日 2019年1月15日)

「国内マネー・マザーファンド」は、去る2019年1月15日に第11期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近3期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券優先物比率	純資産総額
		期騰	中落率			
	円		%	%	%	百万円
9期(2017年1月16日)	10,110		△0.02	40.4	—	495
10期(2018年1月15日)	10,104		△0.06	—	—	487
11期(2019年1月15日)	10,097		△0.07	—	—	470

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

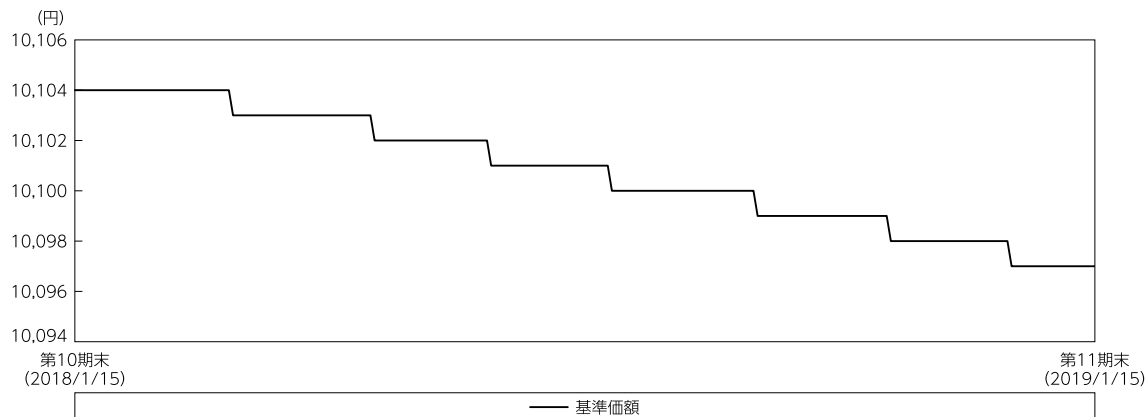
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券優先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2018年1月15日	円 10,104		% —	%	—	% —
1月末	10,104		0.00	—	—	—
2月末	10,104		0.00	—	—	—
3月末	10,103		△0.01	—	—	—
4月末	10,102		△0.02	—	—	—
5月末	10,102		△0.02	—	—	—
6月末	10,101		△0.03	—	—	—
7月末	10,100		△0.04	—	—	—
8月末	10,100		△0.04	—	—	—
9月末	10,099		△0.05	—	—	—
10月末	10,098		△0.06	—	—	—
11月末	10,098		△0.06	—	—	—
12月末	10,097		△0.07	—	—	—
(期末) 2019年1月15日	10,097		△0.07	—	—	—

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移 (2018年1月16日～2019年1月15日)



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。基準価額は、期首10,104円からスタートしましたが、マイナス金利の影響が大きく10,097円まで下落して期末を迎えました。

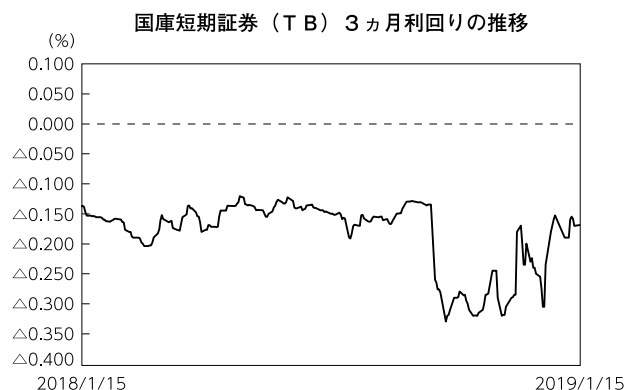
投資環境 (2018年1月16日～2019年1月15日)

国内債券市場

当期間の残存3か月程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス圏で推移しました。

日銀は黒田総裁の第2期以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けています。また、2018年7月の日銀政策決定会合において、長期金利を0%程度に誘導する目標自体は維持しつつ、変動幅の上限を0.2%程度まで容認する金融政策の調整を行いました。発表直後は、一時的にボラティリティが高まる場面もありましたが、イールドカーブは全体的に狭いレンジでの動きに留まっています。

一方、国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。



ポートフォリオについて（2018年1月16日～2019年1月15日）

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。ファンドにとって損失の発生が明らかなマイナス利回りの債券の組み入れを行わず、期末時点での債券の組み入れはありません。

ベンチマークとの差異について（2018年1月16日～2019年1月15日）

本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。よってグラフは掲載していません。

今後の運用方針

引き続き短期公社債などを中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年1月16日～2019年1月15日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2018年1月16日～2019年1月15日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年1月16日～2019年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年1月15日現在)

2019年1月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 470,919	% 100.0
投資信託財産総額	470,919	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年1月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	470,919,551
コール・ローン等	470,919,551
(B) 負債	1,024
未払利息	1,024
(C) 純資産総額(A-B)	470,918,527
元本	466,412,046
次期繰越損益金	4,506,481
(D) 受益権総口数	466,412,046口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,097円

○損益の状況 (2018年1月16日～2019年1月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 受取利息等収益	△ 361,719
支払利息	△ 361,719
(B) 当期利益(A)	△ 361,719
(C) 前期繰越損益金	5,030,085
(D) 解約差損益金	△ 161,885
(E) 計(B+C+D)	4,506,481
次期繰越損益金(E)	4,506,481

・解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	482,273,384円
期中追加設定元本額	－円
期中一部解約元本額	15,861,338円
期末元本の内訳	
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド円コース	1,781,537円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド韓国ウォンコース	227,606円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド中国元コース	693,180円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド豪ドルコース	792,515円
アジア・ウェイブ アジア債券ファンド通貨バスケットコース	3,960,411円
アジア・ウェイブ マネーボールファンド	968,798円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジありコース	4,951,966円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジなしコース	990,394円
世界高配当株セレクト(目標払出し型) 年2回決算・為替ヘッジありコース	990,394円
グローバル・アロケーション・オープン Aコース(年1回決算・為替ヘッジなし)	69,246,703円
グローバル・アロケーション・オープン Bコース(年4回決算・為替ヘッジなし)	366,963,518円
グローバル・アロケーション・オープン Cコース(年1回決算・限定為替ヘッジ)	4,947,950円
グローバル・アロケーション・オープン Dコース(年4回決算・限定為替ヘッジ)	4,945,108円
合 計	466,412,046円